

## 〔 自然の力には逆らえません…♡ 〕

仲嶺真弓

今年も無事に5歳児のお泊り保育を終えることができました。お泊り保育のための御協力ありがとうございました。お泊り保育の内容についてはそう組のページに満載しているのでご覧ください。

今年は異常気象が続き、大阪北部地震にはじまり、酷暑続き。そして台風という自然の影響を受け、園行事も続行か延期(中止)なのかに悩まされ、天気予報とにらめっこの毎日でした。今現在も5歳児の東小学校プール体験も、徒歩で行くことを断念しました。代わりにタクシーを利用して…と考えタクシー会社に電話をしたけれど、満車状態、もしくは予約を断られる状況(午前中のタクシー業界は思いのほか利用が多いようです)。来年以降もこの酷暑が続くなら、東小学校プール体験の取り組みも考えないといけないかと思っています。やりたい取り組みができないことはとても残念ではありますが、最終判断は子どもの命を懸けてでもしたい取り組みなのかどうかと問いかけたら諦めもつきます。プールのために準備をしてくれた保護者の方ご理解いただければと思います。

### 〔 これからの時代を生きる子どもたちに何を残せるのか 〕

青い空と白い入道雲のコントラストが映える季節になりました。この季節が来るたびに心に誓います。日本には絶対に忘れてはいけない、繰り返してはいけない戦争の歴史があります。その歴史を言霊のように復唱し、今年もまた、平和への思いを胸に祈り、願い続けたいと思います。

1945年8月6日 午前8時15分 広島に原子爆弾投下

同年 8月9日 午前11時2分 長崎に原子爆弾投下

資料によると、広島ではおよそ16万6000人、長崎ではおよそ7万5000人ももの尊い命が一瞬にして失われました。原爆を投下される以前には、同年3月26日～6月23日 3ヶ月にわたる長い沖縄戦があり、ここ大阪でも3月～8月にかけて8回もの空襲があったことが資料に記されています。その他日本各地でも爆撃はあり、はかり知れない尊い命が失われた末に、1945年8月15日 終戦の日をむかえました。戦争の時代を生きた人々の気持ちに思いを馳せても想像しきれません。けれど戦争があったという事実だけは戦後生まれの私たちもこれからの時代を生きる子どもたちに語り継いでいかなければならないことではないでしょうか。

私事ではありますが、私自身は大阪生まれ、大阪育ちではありますが、ルーツは沖縄にあります。両親は昭和一桁生まれなので2人とも戦争体験者です。私がいま、生きているのは、戦火の中を生き抜いた父と母がいたから。この命を大切に次の時代を生きる子どもたちに繋いでいきたい。これからの時代を生きる子どもたちに、大人の私たちは何ができるのか…何を残せるのか…を考え続けていきたいと思います。

(お願い) 夏休み中(お盆休みなど)の子どもの出欠をあらかじめアンケートに記入してもらっていますが、変更があった際は、担任もしくは事務室に早めにお知らせください。毎年、病欠でない当日休みがあり、たくさんの給食の食材が無駄になって困っています。ぜひともご協力の程よろしくをお願いします。

つばさが丘西夏まつりのバザーの物品提供のご協力ありがとうございました。台風が予想されたため、ゲームコーナーのみとなってしまいました。提供された物品は、8月に行われる4地区まつり(アトム横のグラウンドで開催)で出品させていただきます。

アトム・つばさ職員有志 WEWISH



パパ懇(父親懇談会)ご参加ありがとうございました。今回参加出来なかったお父さんもぜひ次回お待ちしております。